

第10回全国和牛能力共進会で、 佐渡から出場の2頭が見事1等賞に入賞!!

5年に1度開催され、和牛のオリンピックともいわれる「全国和牛能力共進会（以下、「全共」）」の第10回大会が、10月25日から29日の日程で、長崎県佐世保市のハウステンボスを会場に開催されました。

全共は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて優劣を競う大会で、各道府県から選抜された約500頭が出品され、審査結果が和牛ブランド化に大きく影響することから、各道府県の威信を

けた非常に重要な大会と位置づけられています。

新潟県代表の4頭の内、若い雌牛の形状を競う第2区と第3区に、徳和の菊池さんと石名の梶井さんが生産した佐渡の牛が選出され出場しました。

新潟県代表として佐渡から出場するのは7大会連続で、さらに第3区の梶井さんは2大会連続の出場となりました。

佐渡から30時間以上の長距離輸送を経て出場した2頭は、見事に2頭とも1等賞に入賞しました。

佐渡から出場した牛は、過去に一度も入賞したことがなかっただけに、入賞が決まった瞬間は、佐渡から駆けつけた応援団や同行したスタッフ一同も大いに喜びました。

5年前の鳥取大会で、当時77歳だった梶井さんは、2等賞2席の成績をとっても悔しがり、「5年後の長崎にまた出場し、今度こそ入賞を狙う」と宣言して、今大会で見事に入賞を果たしました。



入賞を祝い記念撮影

佐渡から出場した牛たち

○第2区（若雌の1：生後月齢14〜17か月未満）1等賞12席に入賞
名号 かなこ

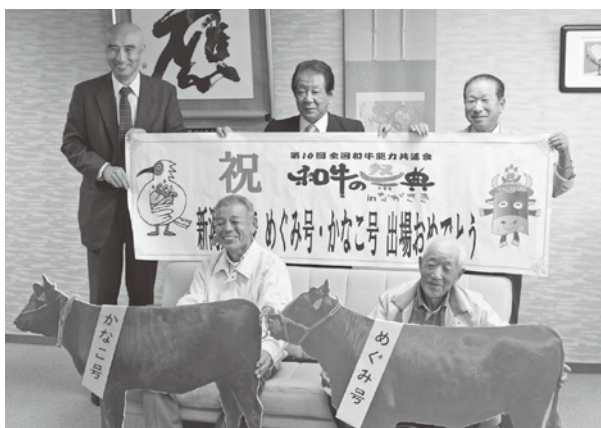
生産者 菊池哲也さん（徳和）

菊池さんは全共初出場。1年1産を
目指し、繁殖および育成に高い技術を持
つ繁殖農家です。

○第3区（若雌の2：生後月齢17〜20
か月未満）1等賞12席に入賞
名号 めぐみ

生産者 梶井佐武郎さん（石名）

梶井さんは、前回の鳥取全共から2回
連続出場。相川共同牛舎設立など畜産
に熱心に取り組み、過去に天皇陛下にコ
シヒカリを献上されたこともあります。



市役所で出場の報告



全国和牛能力共進会会場の様子

